

足寄町地域公共交通計画（素案）パブリックコメント募集結果

令和6年2月28日

足寄町地域公共交通計画（素案）につきまして、令和6年1月26日～2月9日の期間でパブリックコメントを実施し、6件のご意見が寄せられました。

ご意見・ご要望に対する足寄町地域公共交通活性化協議会の見解につきましては、次のとおりです。

	意見・要望の概要	意見・要望に対する足寄町地域公共交通活性化協議会の見解	
1	<p>スクールバスの一般混乗について</p> <p>他の自治体では学生と地域住民の混載バスなども実施されているようです。登下校時の時間帯の移動手段についてはこのような取り組みも、経費が余計にかからず良いかもしれません。</p>	<p>本町においても児童・生徒の登下校に支障のない範囲においてスクールバスの一般混乗を行っていますが、運行時間や停留所、乗車定員等の課題があり、活用されていない状況です。郊外部からの移動手段を維持・確保するため、他自治体の情報を収集しながら、患者輸送バス、十勝バスを含めた効率的な運行を検討してまいります。</p>	B
2	<p>貨客混載について</p> <p>宅急便業者と連携して、郊外部の貨物と住民を混載して輸送する取り組みもあるようです。宅急業界も労働者不足・運転手不足とされているので、そこと連携し、郊外部に配送する貨物と住民と一緒に乗せていくのはお互いウィンウィンではないでしょうか。民間企業との連携により、税金の節約にもなるのではないかと思います。</p>	<p>本町においても十勝バスとヤマト運輸が陸別町向けの宅急便等で貨客混載の取り組みを行っていますが、貨物の積み込みや引き渡しの調整などの課題があると伺っております。運転手不足は今度の大きな課題であることから、他自治体の情報を収集し、検討を進めてまいります。</p>	C
3	<p>自動運転バスについて</p> <p>自動運転バスについては検討されていますでしょうか。導入に補助金もあり、上士幌町や帯広市が採択されています。費用が掛かりますし、懸念事項も多いとは思いますが、将来的に考えても自動運転やAIなどを活用していくべきだと思います。</p>	<p>運転手不足への対策として、自動運転やAIなどの活用は効果的であると考えますが、現段階では様々な課題が山積しています。他自治体において実証事業に係る補助制度を活用し試験運行を実施していますが、降雪時や凍結路面を含む北海道特有の条件下における走行性や安全性の確保が課題となっており、他にも本格導入時の財源の確保や情報通信に係るハッキング対策、さらには事故や違反の責任の所在を定める法整備等、ますますの基盤整備が求められます。現段階において導入検討は時期尚早と考えますが、持続可能な地域交通サービスの実現に向け、今後も情報収集に努めてまいります。</p>	C
4	<p>運転手確保について</p> <p>運転手確保の具体策については、資格取得の補助などをしてはいかがでしょうか。移住者促進にもつながるかもしれません。</p>	<p>今後、本町の車両部局や町内事業者の運転手が不足していくことが考えられます。資格取得への支援や就職説明会の開催等、他自治体や業界団体における取組事例の情報収集に努め、町内事業者と連携し検討してまいります。</p>	B
5	<p>利用者の運賃負担について</p> <p>町民の足としての「あしバス」「100円タクシー」について、町民の役割・目的の大半が病院と買い物が中心になると思うので、町中、郊外とも利用者も一定の決まり（負担）が必要だと思います。自家用車を持てばそれなりの経費がかかります。無料にする必要はないと思います。一度自家用車に係る移動コストを見える化してみてもどうでしょうか。ハイブリット車でも良いです。償却費、車検、保険、修理、燃料等1kmあたりいくらになるのか。郊外・農村部では必需品です。</p>	<p>今後も経常費用が増加していくことが見込まれる中、地域交通サービスを維持していくためには、利用者の方に適切な運賃を負担いただく必要があると考えます。国の補助金を最大限に活用しつつ、自家用車に係る維持コストを参考にしながら、足寄町の実態に合った運賃体系を検討していき、地域一体で支える持続可能な交通サービスを目指してまいります。</p>	B
6	<p>交通サービス拡充等による利便性向上について</p> <p>近くに公共交通がある場合は、バス停に駐車場を作り、車を置いてバスを利用する。公共交通の無い地域はタクシーの乗り合わせ（予約制・行政の助成必要）、スクールバス、患者輸送車を最大限利用する。地域の自治会、老人クラブ、婦人会等人数が多い場合は別途方法を考える。</p> <p>あしバスを方面別制（南・東・北・西地区）にして、ターミナルを拠点として公共交通とも連携する。商店・企業さんの協力を頂き、バス停に待ち合わせ場所を作る。</p>	<p>地域交通拠点のモデル道の駅として選定されている「あしよろ銀河ホール21」は、一般車両駐車場やロータリーのバス停、待合所が配置されており、路線バス・コミュニティバスの交通拠点となっています。持続可能な地域交通サービスの実現に向け、利用者のニーズを把握しながら既存公共施設の活用や乗合デマンドサービスの導入、民間事業者との連携を検討し、足寄町に合った地域交通サービスを模索してまいります。</p>	C

※意見・要望に対する見解の区分は次のとおりです。

意見・要望を受けて計画を修正したもの	A
計画の内容と意見・要望の趣旨が同様と考えられるもの	B
計画を修正していないが、今後の施策の参考とするもの	C
計画に取り入れなかったもの	D
計画の内容についての質問	E